

### 3. 3 小学校5・6年生（7） 指導の概略

#### Ⅲ. 地域の津波被害を考える A. 過去の津波被害を知る

指導する学年	小学校6年生	指導する時間	総合的学習 (地域学習)	指導する時数	1～3時間
目 標	釜石市で過去に起こった津波被害の様子を調べ、津波の恐ろしさを知る。				
使用する資料	【動画-14】体験談『つなみ紙芝居』 【写真-13】釜石市内にある石碑 【資料-07】地震・津波年表 【地図-04】釜石市内にある石碑の地図 【その他】石碑の説明をしてくれる人 【その他】地域の津波体験者 【print-37】津波てんでんこ				

#### 1. 導入

(1) 過去に起こった津波の歴史年表を見て、三陸沖が過去に何回も被害に遭っていることを知る。

【資料-07】地震・津波年表

(2) 学習課題を把握する。

#### 2. 展開

(1) 石碑の写真を見て、このようなものを見たことがあるかを思い出させる。

【写真-13】釜石市内にある石碑

(2) 自分の住んでいる地域に津波に関する碑があるか調べ、行ける範囲であれば直接行って碑に何が書かれているのか調べる。(解説して下さる人がいたら解説をしてもらう)

【地図-04】釜石市内にある石碑の地図

(3) 石碑に書いてあった内容を確認し、このような石碑はどうして建てられたのか話し合う。

(4) 津波体験者から直接話を聞く。(体験者の方に依頼できなかった場合には、動画で代用)

【その他】地域の津波体験者から話を聞く

【動画-14】体験談『つなみ紙芝居』[8:29]

#### 3. まとめ

(1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。

【print-37】津波てんでんこ

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

#### 4. 確認

(1) 津波による過去の被害の様子を知ることができたか？

(2) 石碑や言い伝えなど、先人が残した思いを理解することができたか？

関連する  
教科・行事等

### 3. 3 小学校 5・6年生（7） 指導の注意点

#### 1. 導入

- (1) 過去に起こった津波の歴史年表を見て、三陸沖が過去に何回も被害に遭っていることを知る。
- (2) 学習課題を把握する。

#### 2. 展開

- (1) 石碑の写真を見て、このようなものを見たことがあるかを思い出させる。
- (2) 自分の住んでいる地域に津波に関する碑があるか調べ、行ける範囲であれば直接行って碑に何が書かれているのか調べる。  
(解説してくださる人がいたら解説をしてもらう)  
→石碑の場所は、釜石市郷土資料館のホームページで確認できる  
【歴史と文化】→【歴史】→【津波被害について】
- (3) 石碑に書いてあった内容を確認し、このような石碑はどうして建てられたのか話し合う。  
→昔の人は、後生の人に、自分たちと同じような被害を繰り返してほしくないという思いで、このような石碑をつくったことをおさえる  
→石碑以外に、『津波でんでんこ』という言葉も残してくれたことをおさえる
- (4) 津波体験者から直接話を聞く。  
(体験者の方に依頼できなかった場合には、動画で代用)  
→過去の経験を忘れないために、後生に伝えていくことが必要であることをおさえる

#### 3. まとめ

- (1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

#### 三陸地域を襲った主な地震と津波

西暦(和暦)	震源地(名称)	津波襲来と被害
1896年 (明治29年)	三陸沖	マグニチュード8.5、明治三陸津波襲来。地震後約35分で三陸地方一帯に津波が襲来。津波の高さは小白浜で16メートル、南石で14.6メートルを記録している。釜石市全体の死者は約500人。
1933年 (昭和8年)	三陸沖	マグニチュード8.3、昭和三陸津波襲来。浜では家や舟を流され、町の中では大きな火災が発生した。南石で津波の高さ9.5メートル、小白浜で6.0メートルを記録している。釜石市全体の死者は行方不明者を含め約40人。
1952年 (昭和27年)	十勝沖	マグニチュード8.2、十勝沖地震津波襲来。2.5メートルの津波が襲来。釜石市市場は倒壊している。
1960年 (昭和35年)	南米西部	マグニチュード8.5、チリ地震津波襲来。地球の反対側南米チリ沖で起こった地震により津波が発生。約23時間かけて日本まで津波がやってきた。津波の高さは小白浜で4.0メートル、釜石で3.5メートルを記録している。
1976年 (昭和53年)	宮城県沖	マグニチュード7.5、宮城県沖地震発生。大船渡で震度5を観測。太平洋側で津波が観測されたが、被害の報告はなかった。宮城県では死者28人。
1994年 (平成6年)	三陸はるか沖	マグニチュード7.5、青森県八戸市で震度4、死者3人。東北地方太平洋側に津波警報が発令され、震源が宮古の55センチを観測。各地で津波の報告はされているが、被害は報告されていない。
2003年 (平成15年)	宮城県沖	マグニチュード7.0、震源の深さは71km。大船渡で震度6弱、釜石で震度5強を記録。津波はなかったが、多数の家屋倒壊等を生じた。
2003年 (平成15年)	宮城県北部	マグニチュード5.3-5.4。震源の深さは12kmと深く、宮城県で震度5弱から6弱の地震が同日内に3回発生した。岩手県で震度4、釜石で震度3を記録。宮城県では最大被害を生じた。

#### 【資料-07】

#### 地震・津波年表



【写真-13】

釜石市市内にある石碑



【動画-14】[8:29]

体験談『つなみ紙芝居』